

愛知の財政力 (全国2位) を生かせ くらしと景気をよくしてほしい

住宅リフォーム助成、くらしの公共事業に県予算を

愛知の全国順位 (人口あたり)

財政力	2位
特別養護老人ホーム数	47位
保育士数	47位
看護師数	41位
教育費	41位

「仕事がない」、「年金は減るのに、医療費や介護保険の負担が重い」など、市民から悲鳴があがっています。

住民の暮らしを守り、福祉を充実させるのは、政治の役目です。蒲都市は市内の景気を良くするために、住宅リフォーム助成制度を始めました。予算の15倍の経済効果があり好評のため、

2月1日から5000万円
の追加予算で受け付けを再開します。県で実施している秋田では、22億の予算で512億の効果です。愛知県が100億円の予算をつければ、1000億円以上の仕事が県内の業者に回ります。

さらに、住民の暮らしに必要な県の施設の改修、建て替えなど公共事業を増やして雇用を確保することも必要です。

また福祉、医療、教育の面で、県の予算を増やせば、暮らしやすくなります。

たとえば、愛知県の1人あたりの国民健康保険税は年間9万7000円です。東海地方で一番高く、全国平均より8000円も高くなっています。県は市町村の国保に28億出していたのに

1億7000万円に減らしてしまいました。元に戻して、しっかり予算をつければ、一人あたり1万円の引き下げができます。



特別養護老人ホームや保育所を増やせば、「入りたいのに入れない」こともなくなり、地元の業者に仕事がまわり、介護職員、保育士の雇用も増え、経済効果も生まれます。

愛知県は全国2位の豊かな財政力があります。中小企業の仕事づくりや福祉も全国2位になるように使えば、暮らしと景気をよくすることができそうです。

市議団が4年間の活動を報告

宮成公民館で議会報告会

ＴＰＰ、議員報酬など率直な質問も

共産党市議団は、この間に取り組んできた議会活動や住民運動を報告し、市民の疑問に答え、意見をうかがう「議会報告会」を開いています。

23日には、宮成公民館で「困ったときには共産党」と題して、柴田安彦が報告会を開きました。プロジェクトをつかって、グラフィックや映像を示しながら、分かりやすい報告に努めています。

主な報告のテーマは、次のとおりです。

①市民病院の医師確保運動
3万筆を集めた署名運

動の効果とその後

②水道会計での財源確保

年間1億2000万円の経費節減を実現した共産党の提案

③国保税の引き下げ

署名運動や市の計算まちがいを明らかにし、一人あたり4400円の引き下げを実現

④トリクロロエチレン汚染

4年前に発覚した町内の地下水汚染のその後

⑤様々な生活相談活動

行政にかかわるものから個人のくらしの問題まで、様々な相談に

会場からは「ＴＰＰに対

する市議会や共産党の対応は？」「議員の報酬についてはどう考えるか？」などの質問が出されました。

議員団は今後も議会報告会を開き、市政の様子をお知らせします。次回は、1月30日(日)午後3時から、坂本集会所で開催する予定です。イノシシ対策についても報告する予定ですので、ぜひお出かけください。



双眼鏡

10年ほどまえに「住むところがない、お金がない」という相談を受け、対応をした老人が亡

くなった。

市の養護老人ホームに入所し、最期は病院に入院した。身寄りがなく孤独な方で、葬儀はせず関係職員が立ち会っての火葬をおこなった。

元気な高齢者が入所するはずの養護老人ホームだが、だんだん介護を要する人が増えていくという。

出生率が下がり、結婚しない人が増えていくというから、ますます身寄りのない人が増えるのではないかと心配だ。個々人の準備と社会保障の確立は急務だ。